

北海道読書推進運動協議会

北読進協だより

第22号



被災地に向けて出発した移動図書館車プラタナス号とキッズブックカー
(滝川市)

- 表彰・助成・奨励事業特集
- 東日本大震災被災地への支援

表彰・助成・奨励事業特集

○ 子ども読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰

文部科学省では毎年4月に、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている図書館及び民間団体（個人）に対し表彰を行っています。今年、北海道からは3学校・2図書館・2団体が選考されました。表彰式は、例年4月23日の「子ども読書の日」に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われますが、東日本大震災のため延期され、10月29日に予定されています。

□ 登別市立図書館

館内の児童サービスの他、移動図書館の運行により幼稚園、保育所、小中学校を中心に市内80か所を巡回し、きめ細やかな図書館サービスを行っています。児童書の貸出しは全体の約40%と非常に高い水準となっています。また、図書館ボランティアと協力しながらの図書館まつりや工作教室、学校・幼稚園などへの団体貸出し、「図書館通信」や「じどうしつだより」といった配布物、講演会など、乳幼児から小中学生まで多彩な事業を行っています。

□ 和寒町立図書館

豊富な児童書を所蔵し、土曜日を「親子で図書館の日」として制定し、「図書館を家庭の中に！」を掲げて貸出しを中心におはなし会や読書イベントを開催して子どもの読書活動を進めています。この他、学校や保育所への団体貸出や小学校でのブックトーク、ブックスタートなど活発な活動を続けています。

□ 浜頓別町なかよし童話会（浜頓別町）

町立図書館を利用する本好きな主婦が集まり、結成されました。永年にわたる読みきかせ活動により、子どもの読書習慣が定着してきています。また、ブックスタート事業に協力したり、学校支援事業の他、高校生の読み手を育成するなど、読書環境の整備を通し、地域貢献を果たしています。

□ 旭川おはなしの会（旭川市）

ストーリーテリング中心とした学習会とおはなし会などの実践活動を行い、継続しています。語り手の育成にも力を入れ、大人向けのおはなし会や講座を開催するほか、市内及び近隣市町村からの要請を受けて公演するなど指導的な役割を果たしています。平成22年には設立30周年記念事業をおこなっています。

□ 北海道教育大学付属釧路小学校

読書に親しめるようにするため、一斉読書を実施したり、児童が年間読書量の自己目標を設定するなどの実践的な活動を平成元年から22年間にわたり推進しています。また読書週間の際には、市立図書館司書を招いて各教科等の学習内容に関連した図書を利用したブックトークを実施するなど、市立図書館と連携した指導体制を構築しています。

□ 恵庭市立柏小学校

朝の読書活動を全校児童を対象に取り組み、児童に調べ学習の方法を習得させるため、図書館の利用に関する指導の時間を設定して情報検索能力の育成に努めています。また、市立図書館と学校図書館システムのオンライン連携がなされ、ネットワークが構築されています。

□ 千歳市立向陽台小学校

全校体制で読書の指導体制が充実しており、本の森委員会（児童会）が主体となって全校児童を対象に校内読書感想文コンクールを実施するなど、教職員と児童会が中心となった取り組みを積極的に行っています。図書ボランティアの協力により、全学年で読み聞かせを行ったり、環境整備や本の修理など、保護者や地域住民等と連携し地域ぐるみで児童の読書活動を支援しています。

○ 野間読書推進賞

毎年、読書週間に贈呈式が行われる野間読書推進賞は、地域・職場その他において読書の普及に多年尽力し、読書推進運動に貢献された団体又は個人を顕彰するものです。

（社）読書推進運動協議会ホームページURL

<http://www.dokusyo.or.jp/index.htm>

○ （財）伊藤忠記念財団子ども文庫助成事業

日本の子ども読書活動を支えてきた「文庫活動」に対する助成で、「子ども文庫助成」と「病院施設子ども読書支援」の2種類があります。どちらも対象はボランティアの方々になります。

（財）伊藤忠記念財団ホームページURL

<http://www.itc-zaidan.or.jp/>

東日本大震災被災地への支援

今年3月11日に東日本を襲った大地震により、東北を中心に甚大な被害がありました。被災者に対する様々な支援が今もなお、全国で進められています。

北海道内でも様々な支援が行われる中、図書館及び読書に関する支援活動もなされています。その活動の一部を紹介します。

○「被災地の子どもたちに絵本を届けよう」プロジェクト（滝川市）

滝川市では被災した子どもたちに笑顔を取り戻してほしいという願いから、市民に絵本・子どもの本の寄贈を呼びかけ、集まった本に市内の子どもたちのメッセージカードを添えて被災地に届けるプロジェクトを行いました。4月17日に滝川市内で寄贈を受けた絵本や児童書などを移動図書館車プラタナス号とキッズブックカーの2台に積み、市役所職員と図書館職員が宮城県に向かいました。宮城県内で受領した支援図書を加え、2班に分かれ、18日～23日までの6日間に気仙沼市、南三陸町など6市5町、延べ15か所を訪問しました。絵本など4,750冊を届け、読みきかせ活動などを行いました。図書寄贈には近隣の芦別市立図書館、砂川市図書館、深川市立図書館、新十津川町図書館、歌志内市立図書館が協力しました。

このプロジェクトの詳細は滝川市HPに「被災地の子どもたちに絵本を届けよう」プロジェクト活動報告について」として掲載されています。

URL: <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/kyouikubu/tosyokan/tosyokan.jsp>

滝川市HP トップ>図書館

○「絵本・児童書を被災地へ大作戦」への市立釧路図書館の協力

釧路市内で子どもに絵本を贈る活動を展開する4ours（フォース 阿部俊亮代表）と、市立釧路図書館で古本市を運営している「くしろ古本市実行委員会」が中心となって「絵本で笑顔を」被災地の子ども達支援プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトに市立釧路図書館は広報と受付窓口として協力しました。集められた絵本などは児童文学作家・杉山亮さんが手がける「絵本・児童書を被災地へ大作戦」と連動して被災地に届けられました。

○石狩市民図書館の名取市図書館支援

石狩市民図書館の職員ら8名が4月11日から5月1日までの3週間、被災のため休館していた名取市図書館の復興支援を行いました。2班に分かれ交代しながら、図書館の復旧の他、避難所を訪問して読みきかせや昔あそびのおもちゃのプレゼントをしました。その様子については、石狩市民図書館HPに「がんばろう、なとり」と題した「名取市支援活動報告」を掲載して、ほぼ毎日詳しく報告しました。

また、北広島市図書館職員2名が4月25日から5月1日まで名取市から要請を受け、石狩市の支援に合流しています。

名取市図書館はこれにより、隣接する書庫に貸出用の資料約1万冊を移動させ、臨時図書館として5月10日に一部業務を再開しました。

石狩市民図書館 HP

URL: <http://www.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp/tosho/topPage.html>

○「被災地の子どもたちへ絵本を贈ろう」苫小牧プロジェクト

苫小牧市内のNPO法人9団体が組織した連合会「あゆ〜む」が被災地へ絵本を届けるため、5月30日にプロジェクトをスタートしました。長期継続を予定しており、7月31日まで絵本や児童書の寄贈の第一次受付をしています。後援には苫小牧市教育委員会、苫小牧市立中央図書館、苫小牧読みきかせ文庫活動連絡会などがあり、寄贈受付窓口に苫小牧市立中央図書館が含まれ、協力しています。

また、厚岸町では収益を義援金として寄付する古本市を同町の図書館を利用する人たちを中心とするサークルにより開催しました。いくつかの町では図書館に義援金の募金が設置されています。

この他、全国各地の読書に関わる支援活動については、国際こども図書館が「東日本大震災と子どもの読書についての情報」のページで紹介しています。

URL : http://www.kodomo.go.jp/info/child/news_earthquake.html



北読進協だより 第22号

発行年月日 平成23年6月25日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

北海道立図書館総務企画部企画支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063 (総務企画部直通)

「北読進協（ほくどくしんきょう）」は、（社）読書推進運動協議会発足の翌年、昭和35年に発足した、全道の読書普及に努めることを目的とする団体です。